

令和6年度旭川市公民館運営協議会 会議録

日 時：令和6年7月16日（火） 10：30～11：45

場 所：旭川市神楽公民館 講座室

出席者：（委員）上原委員・葛西委員・佐々木委員・椎名委員・高野委員・高橋委員
中島委員・中村委員・氷見山委員・宮嶋委員

（50音順）

（事務局）社会教育部長・公民館事業課長・事業係長・事業係主査

中央公民館長・永山公民館長・東旭川公民館長・神楽公民館長・末広公民館長

江丹別公民館長・東鷹栖公民館長・神居公民館長・北星公民館長

新旭川公民館長・東光公民館長・西神楽公民館長

傍聴者：なし

*会議は、全て公開で開催。

令和6年度旭川市公民館運営協議会 会議内容

- 1 開 会
- 2 会長 挨拶
- 3 社会教育部長 挨拶
- 4 旭川市公民館運営協議会新任委員 紹介
- 5 公民館事業課新任職員 紹介
- 6 議 事
 - （1）令和5年度 公民館活動実施状況について
 - （2）令和5年度 社会教育基本計画事務事業評価について
 - （3）令和6年度 公民館活動について
 - （4）公民館事業関係予算の推移について
 - （5）その他
- 7 閉 会

議事

(1) 令和5年度 公民館活動実施状況について（事務局説明）

(会長)

ただ今、事務局から説明がありましたが、質問意見等ありますか。

(委員)

主催事業実績を見ると参加者数が増えたということは分かるが、増えた理由については、主催事業が増えたからなのか、それともコロナ対応が緩和されたからなのか。それから、施設利用者へのアンケートについては、配付資料に掲載されている項目が全てで、それ以外は質問していないのか。

(事務局)

令和4年度はコロナで中止になった講座があり、参加者人数を制限して実施したものもあったので、コロナ後の令和5年度には事業数及び参加者数の両方において増えたと思われる。施設利用者アンケートは、この資料にある項目でアンケートを行っている。

(委員)

施設利用者アンケートは、百寿大学など長い講座を受けたときに配られる場合と単独の講座で配られる場合があると思う。設問項目『講座を通じて新たな人とのつながりができましたか』については、長く講座を受けている人にとっては回答しやすいかもしれないが、1回限りの講座受講者にとっては回答しづらいものがある。そういった方たちに対しては項目を変えた方が良いのではないか。単独の講座の中で、人とのつながりを考えていくというのなら、各講座の中で、つながりを意識した運営を行っていく必要があると思う。

公民館地域フォーラムは、公民館運営に関しての意見を皆さんから聞き取るという大変重要なものだと思っている。全体で参加者数が少ないということがあるならば、各館で人数を増やす工夫をしている等あれば教えていただきたい。また、フォーラム以外に運営に関して意見をいただいているなら教えてほしい。

(事務局)

神楽公民館では月1回、地域の方々が歌を介して集うという事業「歌サロン」をまちづくり協議会と行っており、終了後に参加者30～40名から短い時間ではあるが御意見を聴く場を昨年度は設けて、木楽輪のドアが重いといった御意見をいただいた。

(事務局)

公民館地域フォーラムは地域の皆様から御意見を聞くということで開催している。サークルの方々にも声がけしているが、現状として館によっては参加人数が少ないという状況にある。今後も利用団体や地域の町内会等に声がけするなど、できるだけ多くの地域の皆様から御意見をいただけるよう取り組んでいきたい。

利用者団体やサークル団体との会合を開催している館もあるので、そういった中からも御意見をいただいて公民館の運営に反映させていきたいと考えている。

また、アンケートについて、幅広く利用者からとるアンケートと事業参加者からとるアンケートとでは、項目が違ってくる。一般の利用者に対するアンケートで「人とのつながりができたか」とか、1回だけの講座でつながりができたか、というとなかなか回答率が低いということもあると思う。社会教育基本計画に基づく指標の把握ということで、アンケートについては各事業参加者や利用者を含めて実施することになっているが、より回答しやすい内容になるよう引き続き整理していきたい。

(会長)

施設利用者アンケートで、「講座を通じて新たな人とのつながりができた」ということは良いことだと思う。パーセンテージを見ると、東旭川公民館が高い。講座に参加したことがある人が回答者108人のうちの34人(31.5%)で、その8割近い方が人とのつながりができたということになる。

(事務局)

詳細について分析はしていないが、回答者のうち百寿大学の学生が結構いるものと考えている。百寿大学は講座を複数回実施しているので、人とのつながりができやすかったものと推測できる。

(会長)

百寿大学は公民館活動においてもいろいろな影響を持っていると思うが、これから高齢化が進んでいく中、ベビーブーマー(団塊の世代)が減っていくと、どういった影響が出るのだろうか。今の「人とのつながり」を考えると百寿大学の参加者というのは重要な役割を果たしていると思う。

(事務局)

百寿大学はコロナの影響でだいぶ人数が減ってきている。年齢層についても年々平均年齢は高くなってきている。定年延長ということで、今までは60歳で退職というのが多かったと思うが、働く高齢者が増えてきており、年々年齢が上がってきているという状況にある。また、余暇活動を御自身で活動される方もいる。百寿大学の参加者は減少傾向にあるが、地域で生活する、活動する上での学びももちろんあり、仲間

作りや健康作りにおいても効果があると思うので、今後も講座の内容を適宜見直しながらか継続していきたいと考えている。

(会長)

他になれば次の議事に進みます。

議事

(2) 令和5年度 社会教育基本計画事務事業評価について (事務局説明)

(会長)

ただ今、事務局から説明がありましたが、質問意見等ありませんか。

(委員)

前回の会議の時、スマートフォンの講座の人気の高いので、事務局からもそれを充実していくとの説明があった。しかし、公民館のあらましを見ると、いくつかの公民館ではスマートフォンの講座が今年度予定されていない。これは、スマートフォンの講座をどうするかということがしっかりと議論されていないのか、それとも議論した結果、うちの公民館では必要がないということになったのか、そういった結論に至った経過について聞きたい。

(事務局)

講座は各館で計画して実施しており、館長会議を通じてスマートフォンの講座を開催してほしいという話をしているが、館によっては年度の計画を組んでいる中で実施に至らなかったということ。今後については、全館で実施していく方向で各館に周知して、全市民共通の課題という認識で対応していきたい。

(委員)

希望がある住民がいるのであれば受けやすいところで環境を作ってあげてみてはという趣旨で発言した。

基本施策の2-1-1の①についてだが、先ほどの利用者アンケートに関わるところで、これ以外のアンケート項目はないとのことだったが、「施設・貸出物品が快適に使えるという回答が約60%に留まっており、施設老朽化の影響等が見られます」とあり、その今後の方向性の中で、「老朽化が進んでいる施設もあることから、計画的な改修や修繕等の実施を検討していきます。」とある。老朽化については記載があるが、貸出物品については、快適ではないと考えている方もいたのではないかなと思うが、それについての改善策はここで触れられていない。これについて、今後、貸出物品のどういふところが不適合なのかというアンケートを行うということなのか。どのように

進めていこうと考えているのか。

(事務局)

現状、貸出物品の備品については各施設老朽化が進んでいる。神楽公民館のように比較的机と椅子が快適に使いやすいところもあれば、重たいというところもあるし、卓球台もかなり古くなっているところもある。そういったところは、各館で状況を把握しているので、個別にこうしてほしいというアンケートをとるのではなく、日頃利用されているサークル等の生涯学習団体の御意見を踏まえて、予算の獲得に努めていきたいと思っている。いずれにしても、全ての施設の備品を更新することは難しいので、建物や設備も含めて、備品についても優先度を踏まえて更新を図っていくという考えである。

(委員)

貸出物品で、例えばマイクにもいろんな種類があって、一つ一つ使い方が違って使いにくいとか、きちんと充電がされていなくて使っている途中に使えなくなるとか、使い勝手が悪いとか、今だとインターネットで会議があるが、同じパソコンでも、設定できちゃんと映像が映らなかったりとか音声が聞こえなかったりとか、説明したい資料が画面に出なかったりとか。そういうような、物はあるが使い勝手が悪いということもあるのではないのかと思う。そういうことについてのアンケートはしないのか。単に物品を新しくすれば良いということではなく、ソフト的なことについてはどうなっているのか。

(事務局)

ソフト的なことについては、アンケートというよりは日頃部屋を貸し出す中で直接職員に、この部分は使えなかったとか悪いとかいう話はいただくので、そういった中で修理するとか改善するという事で随時対応している。

(委員)

「今後の方向性」に何も記載しないということは、十分対応しているので現状の対応で十分だから、新たな項目は必要ないということによいか。

(事務局)

今後について、悪いものは随時直していく考えである。予算の関係もあるので、全て直せるかというのと直せないこともあるが、不具合がある部分については、随時直していくという考えで対応していきたいと思っている。

(委員)

市民の学び支える環境の整備ということで、確かに予算が限られている中で整備することは難しいと思う。ある館長に聞いたことがあるが、百寿大学の教室が2階にあるので階段を上らなくてはならない場合、受講されている方が、階段が急で上れないから何か工夫をしてもらえないかというリクエストをするのではなく、階段を上れないので講座をやめさせてもらいます、ということが何件かあったという。エレベーターができれば良いが、それも難しい。でもそういう方に対して、何らかの手立てができないのか。数的にはそんなに多くはないと思うが、学び続けていきたいという気持ちをなんとかできないのか、考えていただければありがたい。

また、「郷土文化の保存・活用と郷土愛の育成」とあって、各公民館でいろいろな講座が行われているが、その中に私も参加したことがある神居公民館のバスで行く「神居再発見講座」という講座がある。これは長い間続いていたと思うが、今年度計画に入っていないくて残念である。おそらく何か理由があると推測するが、その理由を教えてください。末広公民館では新しく「末広・春光歴史再発見講座」がある。大変良いことと思う。各地域の良いところを再発見してみんなで理解を深めるということ、どんどん取り入れていただけたらありがたい。

(事務局)

「神居再発見講座」について、先日行った「おもしろい！大雪山と石狩川のよもやま話し」と、来年1月に行う「ジオパーク講座」に、今年度は、座学ということで組み込んでいる。その中で神居古潭とか、神居に限らず上川盆地周辺の自然の面白さといった座学の講座をやってみようと、試行錯誤しながら計画したところである。

(委員)

座学の講座になったというのは、バスの手配が難しかったということか。

(事務局)

講師の手配の都合と、近年熊の出没等があり、計画しても熊の出没状況によっては講座が中止になることもある。何年も野外で実施してきたし、一度座学を挟んでも面白いのではないかとということで、今年度は天候や環境に影響されない座学の講座として実施した。先日のよもやま話しには25名の方に参加いただいたので、こういった状況も踏まえつつ、野外の再発見講座の再開も含めて、来年度計画していきたい。

(会長)

他になれば次の議事に進みます。

議事

(3) 令和6年度 公民館活動について（事務局説明）

(4) 公民館事業関係予算の推移について（事務局説明）

(会長)

ただ今、事務局から説明がありましたが、質問や意見等ありませんか。

(委員)

あらまし4ページのところで、高齢者学習の区分でシニア大学説明会が入っている。他の公民館では説明会というのは団体育成の区分に入っている。また、団体育成のところにある第37回旭川市公民館合唱サークル合同発表会というのは、発表ということなので展示・発表に入るものと思うがこのように区分した理由があれば教えてほしい。

それから、公民館で場所を開放するという事業を実施しているが、利用者がゼロまたは少ない場合、それを中止又は見直した上で継続の判断をすると思うが、今年度実施する館においては、今年度どういう工夫をして開放するのか、教えてほしい。

(事務局)

シニア大学の入学説明会については、公民館サイドの事業として実施しているもので、シニア大学生が主体的に実施しているものではないので、団体育成ではなく、シニア大学の一つの行事、新たに入ってくる方への説明会であることから高齢者学習の区分とした。令和6年度については、別出しする必要がないと判断し掲載していない。次に団体育成に入っている公民館合唱サークル合同発表会については、公民館で活動している合唱サークルと市の共催事業として実施しており、基本的な運営などは合唱サークルの方で毎年当番団体を決めて運営しているものであり、市としては合唱サークルが主体的に実施するという、団体育成の視点を重視し、団体育成の区分とした。

開放事業について、永山公民館では、ミニテニス・ミニバレー開放を毎週2回月曜日と木曜日に実施していたが、月曜日の利用者がゼロであった。そこで、月曜日の開放事業をやめるとともに、地域の方から室内でウォーキングできる場所がほしいという要望があったので、空いた月曜日に室内ウォーキング開放ということで実施している。

東鷹栖公民館では、昨年11月から3月の間にウォーキング&ポールウォーキング開放をしていたが参加者が少なかったので、今年度は開催前に体験会を開催して参加者増に努めたいと思っている。

議事（５）その他

（会長）

その他について、事務局から何かありますか。

（事務局）

特にありません。

（会長）

全体を通して、議事以外のことで構わないので、何か発言等ありませんか。

（委員）

先ほど、委員から高齢者の階段の上り下りという話があった。公民館地域フォーラムについて、春光台公民館のところでは、階段昇降機を検討したけれども階段の幅が狭いため取付けできないと。他の公民館のところを見ても、２階に上るための手立てとしてエレベーターの設置について要望として出ているところがある。他の公民館でも２階建てのところについては、同じような要望があっても簡易的な階段昇降機も取付けできないのか。

（事務局）

公民館の２階に講座等の貸室があることから、階段昇降機、エレベーター等の要望がある。階段昇降機については、安全面から１人で乗り降りできるものではないため、公共施設全般でも限られた施設にしか設置していない状況にある。また、物理的な問題として、階段の幅や耐久性などで設置できないことがある。エレベーターについては、整備に２千万円規模の経費がかかるので、もともとエレベーターがない施設に新しくエレベーターを設置するというのは、市全体として現実的に対応できていない状況にある。

建築から２５年、３０年経ってくると、暖房や空調など設備が老朽化してくる。本市では、公共施設の老朽化対策が課題となっており、不具合がある設備等の更新を優先的に進めている。今後の課題として、２０２７年をもって蛍光灯が輸出入禁止・製造中止になるということで、公共施設全般で照明のＬＥＤ化が急務になっており、また、学校施設では各教室に冷房設備の設置を進めている。そういった中で、要望はあるがエレベーターの設置というのは対応が難しいということで御理解いただきたい。

（会長）

他にありませんか。

議事についてはこれで終了します。副会長の方から一言お願いします。

(副会長)

この20～30年間、週に2～3回公民館を利用させていただいているが、疑問に感じる会合も見受けられる。部屋を借りるときに「使用の決まり」といったものを渡していると思うが、公民館の目的に沿った会合であるかどうか、公民館の職員が見させていただくことがあるということを、あらかじめ団体には説明して、何回か入っていただいても良いと思う。そうすることで、例えば販売目的とか宗教といった利用を防げることもできると思う。

(会長)

事務局から連絡事項をお願いします。

(事務局)

- ・本協議会の開催予定について
- ・「第46回全国公民館研究集会北海道大会・第68回北海道公民館大会 in ひがしかぐら」について

(会長)

ありがとうございます。

これで本日の議事を全て終了します。

以 上